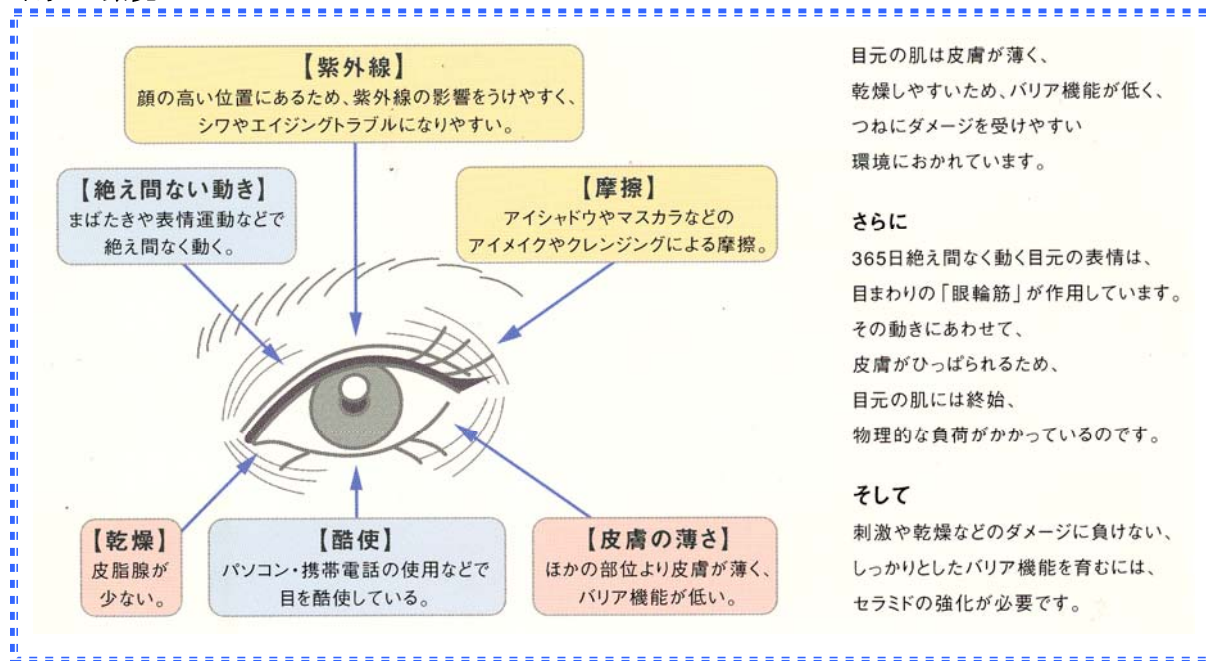


参考資料

<目元の環境>



目元の肌は皮膚が薄く、乾燥しやすいため、バリア機能が低く、つねにダメージを受けやすい環境におかれています。

さらに

365日絶え間なく動く目元の表情は、目まわりの「眼輪筋」が作用しています。その動きにあわせて、皮膚がひっぱられるため、目元の肌には終始、物理的な負荷がかかっているのです。

そして

刺激や乾燥などのダメージに負けない、しっかりとしたバリア機能を育むには、セラミドの強化が必要です。